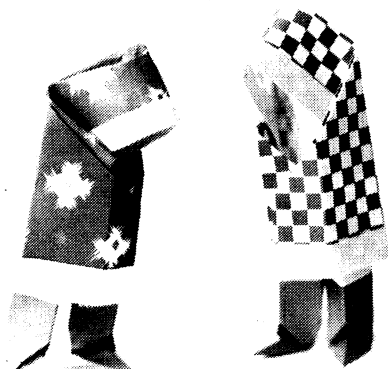


目 次

歳時記	1	8. 金融	23
第28回全国統計大会終る	2	9. 物価	24
統計の窓	4	10. 経済	25
スポーツ, 趣味, 娯楽, 休養は1日の23%	6	11. 消費生活相談	25
人口集中地区について	8	12. 家計	26
喫煙室	12	13. レジャー	28
指 標		14. 保健相談	28
1. 主要指標	14	15. 交通事故	29
2. 人口	16	16. 交通事故保障相談	29
3. 労働	18	17. 犯罪	30
4. 農業	20	18. 火災	30
5. 鉱工業	21	刊行物のお知らせ	31
6. 建築	22	伝言板	32
7. 電力	22		

利用上の注意

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1 統計表の数値は原則として単位未満は四捨五入 | 2 「年」は暦年, 「年度」は4月から翌年の3月まで |
| 3 記号 | |
| — 零または該当数字のないもの | r 訂正数字 |
| 0 該当数字が掲載単位未満のもの | △ 減少または出超 |
| … 不詳のもの | x 秘密保持のため掲載をひかえたもの |
| p 暫定数字 | |



11月になると、日本各地での初雪の知らせが急に聞かれます。

茨城県での初雪は例年なら1月3日だそうです、今年はどうも異常気象の気配がありそうですから、どうなることやら。

初雪が降ればもうスキーのシーズンも間近です。家の中にとじ込もっていないで、子供の頃のように外に飛び出しましょう。

今月のおもな行事

- 1 H 静岡県統計大会
- 1～2 H 生産動態統計ブロック会議（群馬県）
小売物価統計調査ブロック会議（十王町）
- 9 H 茨城県統計大会（水戸市）
埼玉県統計大会
神奈川県統計大会
- 10 H 群馬県統計大会
山梨県統計大会
- 11～12 H 石岡市統計大会
家計調査ブロック会議（千葉県）
- 18, 21～22, 24～25日 工業統計調査市町村説明会
- 24 H 岩井市統計大会
- 28 H 大野村統計大会
- 29～30 H 消費者動向調査ブロック会議（埼玉県）

統計偶感

松田道夫

外地から旧軍人その他が続々と送還されてくる一方、内地では、何百万人という餓死者が出る并报ぜられ、何とかして食糧を輸入してもらおうと占領軍に対して努力が払われていた時機に、統計法は、誕生した。

敗戦による虚脱と飢餓の中で、一見不急不用とみられかねない統計に関する法律が逸早く成立したことに対しては、それなりのいきさつがあったことであるが、ここではその説明は省略し、立法に関係された方々の情熱と適確な判断力に敬意を払うことに止めよう。

統計法は、今年の5月1日をもって、施行後30年を経過したことになる。統計業務の一部を担当している者として、この機会に、感じていることの一、二を述べてみたい。

「環境の悪化」ということ

数年前から、統計関係者の間で「統計の環境の悪化」又は単に「環境の悪化」という言葉が屢々聞かれるようになった。

始めて統計業務に従事することになった人がこの言葉を聞かされると、何か異様な感じを受けるのではないかと思う。仕事の中に問題点が幾つかあるというのであれば、それは当然のことであるし、仕事がしにくいということであれば、それはぜい沢だ。

環境の悪化というのは、統計調査を実施する場合、申告者が不在で調査できない、申告者が居ても十分調査に応じてもらえない、調査票の回収に予定以上の時間がかかる、これらの事情を反映して統計調査員を引受けてくれなくなった、調査従事者の交通事故が心配だ、統計担当職員について……というように色々の意味をこめて前より仕事がしにくくなったことを言っているものと思う。

環境の悪化という言葉に何となく馴染まないまま聞いたり、読んだりしているうちに、次のようなことに気がついた。

その一は、この言葉が誰も傷つけないことである。

最近、挨拶とか、国に対する要求や説明文の中で屢々聞いたり、見かけたりするが、使っている方も受取る方も枕言葉としてしか理解していないような感じがする。言葉は使っている間に本来の意味からずれて特別の意味で使われるようになるものがあるが、環境の悪化という言葉も、同じ運命をたどりはじめたようだ。本来、この言葉で示される内容は、統計の業務を担当する者にとって極めて深刻なものがあると思うが、あまり繰返して使われるようになると思う者の胸を痛めさせる響きが少なくなる。

その二は、この言葉を使っている人以外の事情が悪化しているのであって、この言葉を使っている人は何ら関係がない、すなわち、周囲だけが悪いとしているような感じが言外に漂っていることである。

統計調査という仕事は、沢山の人が広い地域にわたって一斉に従事し、それが終ると別のグループにその結果が伝えられ、次第にステップを登りながら最終グループの人達によって報告書が出されるという場合が多い。いずれかのステップを担当している者から他のステップの事情が悪くなったと言い、これを聞いた方では自分の属するステップには問題がないが、他のステップの事情が悪化したというすれ違った理解をしている面があると思う。

環境が悪いという短い言葉の中に多様な意味をこめて使い、相手にその全部の理解を求めることは、無理だ。悪化しているのは、環境ではなくて、自分自身ではないのか。

「統計の真実性の確保」ということ

「統計の真実性を確保」という堅苦しい言い方をしたのは、統計法の目的の最初に使ってある言葉を引用したためである。

「統計の環境が悪化」しているとすれば、その悪化した環境の中で作られた統計は、環境のよかった時代のものに比べ、やはり悪くなっていると見られても仕方がないのであろうか。

若し悪くなったとしても、その内容は、千差万別であろう。結果の公表が遅い、結果報告書が使いにくいなど色々考えられるが、先づ心配となるのは、統計数字が現実を示さなくなったのではないかということであろう。勿論、正確な申告をしてもらうべく各省、地方公共団体、統計調査員は、それぞれの立場で知恵を出し合い努力を積み重ねているにしても、正しい申告の提供については、一層の配慮が望まれる。

環境の悪化などという言葉が作られる前から、例えば、次のようなことは周知のことであった。3年ごとに実施されている事業所統計調査の工業事業所数と商業事業所数の動きに対し、工業統計調査と商業統計調査の対象事業所数の動きが、乖離を示しながらも、事業所統計調査の結果に引張られている形を示していること。また、国勢調査による年齢別人口が5年前の国勢調査による5歳若い人口と比較した場合に増加している年齢階層が認められること（海外からの相当な人口流入がない限り、通常は死亡者の分だけ減少するはず）などである。

また、国の実施したセンサスの数字と府県が独自に実施した調査の結果との喰違いとかが、特定の調査ではあるが、

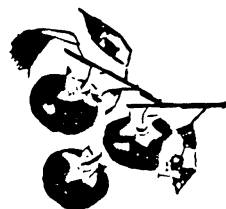
統計調査員が調査票の数字が過少申告であることを推定できてもその訂正を求めることが容易でないという話もある。

統計には、サンプリング・エラーのほかにノン・サンプリング・エラーという厄介な存在があるが、従来からの問題の上に環境悪化の影響が加わり、単なるエラーを越えて、欠陥統計とも言われるような統計が生まれまいよう注意したい。

最近では、自動車に何らかの欠点が認められたときは、それを発表し、速やかに部品の交換などが行われている。この制度が実施されるまでには、相当の反対論があったものと想像できるが、実施してみると少なくともユーザーにとって大きな安心感を与えている。統計についても、機会あるごと製品検査に努め、数字の異常については、速やかにユーザーに説明されることが望ましい。

この説明が積み重なることにより、環境悪化の部位と程度も明らかになる筈であり、その対策を通じて、この時点から本当の意味で統計の真実性の確保が始まるものと信ずる。

前
(行政管理庁統計主幹)



スポーツ，趣味，娯楽，休養は1日の23%

— 社会生活基本調査 —

昭和51年10月に、我が国で初めての「社会生活基本調査」が実施され、その結果が去る10月9日総理府統計局から発表されました。

この調査は、サブテーマを「新しい生き方を求めて」と題しているもので、その内容はテーマの示すとおり、高度経済成長から安定成長へと経済が転換するなかで、これまではどちらかというと経済活動を中心にとらえてきた国民生活を、全く別の新しい観点からとらえようとしたものです。

すなわち、経済活動の陰にかくれていた自由時間ないし余暇（これを第3次活動という。これに対し睡眠，食事等の生理的に必要な時間を第1次活動，有業者の仕事，主婦の家事，学生の学業など義務的拘束時間を第2次活動としている）の面に焦点を当てて、国民生活の実態に関する基本的資料を得るとともに、将来どのように変化してゆくかを探ろうとしたが、この調査の大きなネライとなっています。

調査は、51年10月17日から23日までの1週間、全国から選ばれた約7万5千世帯の15歳以上の世帯員18万5千人について行われました。

調査結果のうち、主な事項は次のとおりです。

1次，2次，3次活動別行動時間

国民の生活行動時間は1次活動45%，2次活動33%，3次活動23%

国民の生活行動時間を、睡眠，食事，身の回りなどの第1次活動（生理的に必要な活動），仕事，家事，育児，在学者の勉強などの第2次活動（義務的，拘束的な活動）及びスポーツ，趣味，娯楽，休養などの第3次活動（余暇）に分けて、1週間を通じての平均1日の生活をみてみますと、1日24時間のうち、1次活動は10時間42分（45%）、2次活動は7時間51分（33%）、3次活動が5時間27分（23%）となっています。

1次活動時間は、男10時間41分、女10時間42分と差があ

りませんが、2次活動時間は、男7時間38分、女8時間4分で女の方が26分長く、この分だけ女の3次活動時間が短くなっています。

また、年齢別にみますと、1次活動時間は男女とも高齢者が若干長いほかは年齢による差は少ないのですが、2次活動時間は、在学者の多い15～19歳を除いて男は30代（8時間25分）、女は40代（9時間9分）がピークとなっており、3次活動時間は、逆にこれら2次活動がピークの年齢層で最も短く、65歳になると、2次より3次活動時間が長くなり、余暇時間の方が多くなってきています。

表-1 国民の生活行動時間

男 女	時間（時間、分）			割合（%）		
	1次活動	2次活動	3次活動	1次活動	2次活動	3次活動
総 数	10.42	7.51	5.27	44.6	32.7	22.7
男	10.41	7.38	5.41	44.5	31.8	23.7
女	10.42	8.04	5.14	44.6	33.6	21.8

表-2 男女，年齢，行動の種類別平均時間（時間、分）

行動の種類 年齢	男			女		
	1次活動	2次活動	3次活動	1次活動	2次活動	3次活動
総 数	10.41	7.38	5.41	10.42	8.04	5.14
15～19	10.10	8.26	5.23	10.16	8.59	4.45
20～24	10.25	7.42	5.52	10.43	7.59	5.18
25～29	10.29	8.10	5.21	10.39	8.37	4.44
30～39	10.32	8.25	5.03	10.27	8.58	4.36
40～49	10.34	8.15	5.11	10.17	9.09	4.34
50～59	10.43	7.50	5.26	10.36	8.17	5.07
60～64	11.03	6.36	6.21	11.04	7.00	5.57
65～69	11.27	5.14	7.19	11.27	5.46	6.47
70歳以上	12.15	3.02	8.43	12.23	3.21	8.16

3次活動の内容

3次活動時間の約3分の2が休養，息抜き

3次活動は、学業以外の勉強，趣味，娯楽，スポーツや奉仕活動などの積極的活動と、交際，テレビ，新聞雑誌，休養，くつろぎなどの消極的活動とに分けられます。

3次活動のうち、テレビ，休養などの消極的活動時間の

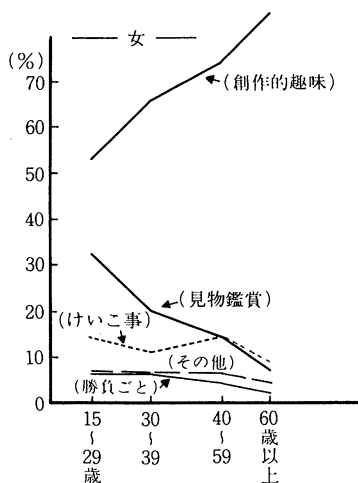
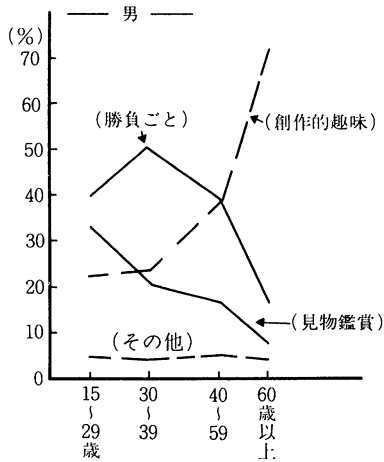
占める割合は、男63%、女68%で、3次活動の約3分の2が休養、息抜きなどにあてられています。

この割合は、年齢が多くなるほど高く、女50歳以上、男65歳以上では70%を超えています。

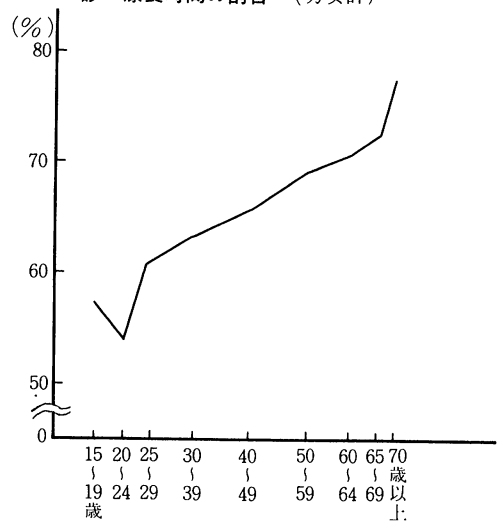
なお、20~24歳では実際の時間が長い為、3次活動時間のうち、テレビ、休養、くつろぎなどの占める割合はとくに低くなっています。

また、3次活動のうち積極的活動をみてみますと、男女とも趣味、娯楽が最も多く、男は囲碁、将棋、マージャン、パチンコなどの「勝負ごと」、女は茶華道などの「創作的趣味」となっています。

図一 男女、年齢階級、趣味、娯楽時間の類型別構成比（スコアによる）



図一 年齢階級別3次活動時間に占める休養・くつろぎ・ラジオ・テレビ・新聞・雑誌・受診・療養時間の割合（男女計）



世帯の主婦の行動

世帯構成が大きくなるにしたがって、2次活動は多く、3次活動は短くなる。

主婦の生活行動時間を、夫婦のみの世帯、夫婦と子供の世帯及び夫婦と子供と親のいる世帯とに分けて比較すると表一3のとおりです。

夫婦と子供の世帯は、夫婦のみの世帯にくらべ家事、育児時間が1時間半多くなっています。

このため、2次活動時間が多くこの分だけ3次活動時間が少なくなっています。

さらに、親もいる世帯の場合は、夫婦と子供のいる世帯にくらべ2次活動時間がさらに1時間14分長く、したがって3次活動時間は1時間短かくなっており、世帯構成の多くなるにしたがい余暇時間が短かくなってきています。

表一3 世帯の種類別主婦の時間配分

(時間, 分)

世帯の種類	1次活動	2次活動	3次活動			
			う家育ち事児	う買ち物	う仕ち事	
夫婦のみの世帯	10.48	7.34	3.25	0.44	3.11	5.38
夫婦と子供の世帯	10.26	8.40	4.52	0.49	2.49	4.54
夫婦と子供と親の世帯	10.12	9.54	4.24	0.33	4.44	3.55

(県統計課 人口学事統計係 木口)

表-1 東京、大阪、名古屋を中心とした半径50キロメートル圏内の
人口集中地区人口、面積及び距離帯別人口集中地区人口

項目	人口集中地区				全域に占める割合(%)
	昭和50年	45年～50年の増加(△は減少)		人口密度 (1km ² 当たり)	
		増加数	増加率(%)		
人口	38,468,679	5,190,359	15.6	9,463	81.7
東京50キロ圏	21,347,867	3,111,763	17.1	9,744	86.2
0～10km	4,283,662	△ 278,274	△ 6.5	—	—
10～20	6,877,313	619,116	9.0	—	—
20～30	3,141,726	1,046,903	33.3	—	—
30～40	2,637,331	1,198,049	45.4	—	—
40～50	1,296,072	525,969	40.6	—	—
大阪50キロ圏	12,879,197	1,411,671	12.3	10,355	86.6
0～10km	4,677,391	△ 129,034	△ 2.8	—	—
10～20	2,512,911	633,765	25.2	—	—
20～30	1,279,085	416,097	32.5	—	—
30～40	1,674,006	345,780	20.7	—	—
40～50	1,324,133	145,063	11.0	—	—
名古屋50キロ圏	4,241,615	666,925	18.7	6,726	57.1
0～10km	1,866,507	119,395	6.4	—	—
10～20	489,907	319,245	65.2	—	—
20～30	312,091	117,027	37.5	—	—
30～40	807,281	82,968	10.3	—	—
40～50	98,904	28,290	28.6	—	—
面積	4,065.3	1,023.7	33.7	—	18.3
東京50キロ圏	2,190.9	482.5	28.2	—	28.8
大阪50キロ圏	1,243.8	358.5	40.5	—	16.9
名古屋50キロ圏	630.6	182.7	40.8	—	8.6

大阪、名古屋50キロ圏での人口集中地区の拡大が顕著

三大都市圏の人口集中地区の面積を前回に比較すると、この5年間に「東京50キロ圏」は28.2%(482.5平方キロメートル)、「大阪50キロ圏」では40.5%(358.5平方キロメートル)、「名古屋50キロ圏」では40.8%(182.7%)とそれぞれ拡大し、三大都市圏全体では33.7%(1,023.7平方キロメートル)の拡大となっている。

このうち、特に、「大阪50キロ圏」と「名古屋50キロ圏」での面積拡大率は、その人口集中地区の人口増加率(12.3%、18.7%)の2～3倍にも達し、また、全国の人口集中地区の面積拡大率28.4%を大きく上回っていることから、大阪及び名古屋50キロ圏で、いわゆる都市的地域の拡大が顕著であることを示している。

一方、各都市圏の人口集中地区の人口の伸びは、「東京50キロ圏」が17.1%(311万人)、「大阪50キロ圏」が12.3%(141万人)、「名古屋50キロ圏」が18.7%(67万人)となっており、三大都市圏全体の伸び率15.6%は、全国の伸び率14.0%をわずかに上回っている。

更に、各都市圏の中心(東京都庁、大阪市役所及び名古屋市役所)からの距離帯別に人口集中地区の人口増加率をみると最も高い増加率を示す距離帯は、「東京50キロ圏」で

は、30～40キロ帯の45.4%、「大阪50キロ圏」では、20～30キロ帯の32.5%、「名古屋50キロ圏」では、10～20キロ帯の65.2%となっている。(表-1)

鉄道沿線を中心に拡大する人口集中地区

三大都市圏の人口集中地区の拡大をみると、いずれの都市圏においても鉄道沿線を中心に拡大している。

「東京50キロ圏」では、神奈川県湘南から東京都の立川市方面にかけて20～50キロ帯で幅広く拡大し、埼玉県では30キロラインの内外で帯状に、そして千葉県では東京湾沿いに拡大している。これらの状況を鉄道の各線に沿ってみると、特に、東武日光線、東武東上線、小田急線、京王線、成田線(国・私鉄)の沿線でいわゆるベッドタウン化が進行していることがわかる。(図-1)

一方、「大阪50キロ圏」では、大阪市と京都市を結ぶ地域と大阪湾沿いの南海線の沿線に50キロライン近くまで拡大が進み、また、奈良市と橿原市を核にした拡大がみられる。

「名古屋50キロ圏」では、名古屋市と岐阜市を結ぶ地域に、そして知多半島の伊勢湾沿いに大きな拡大がみられ、名古屋市を中心とした南北方向に拡大している。

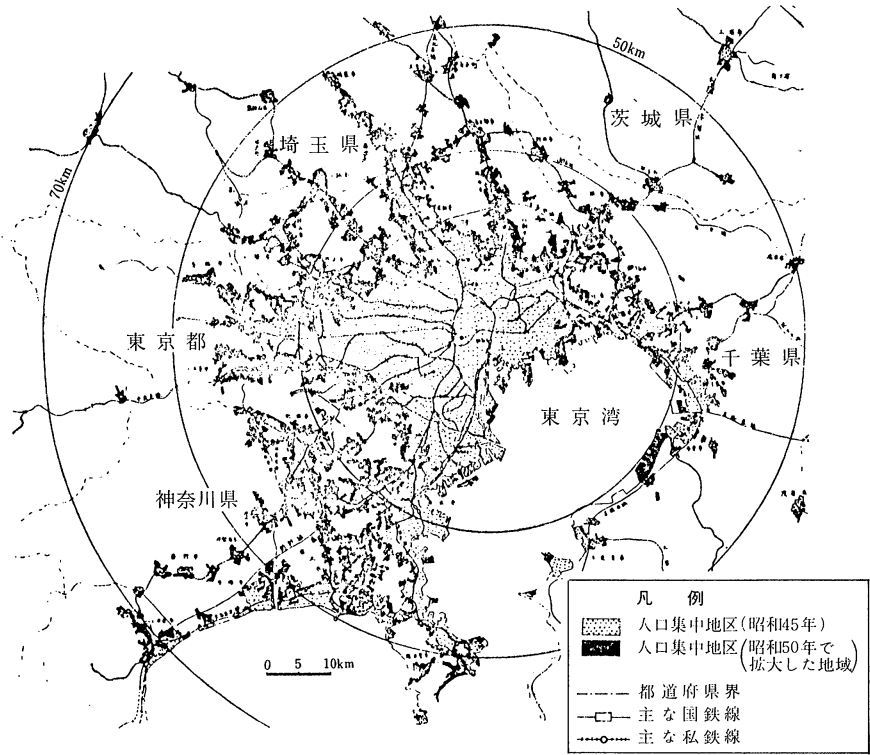
■調査から

表-2 人口集中地区人口、増加率（45年～50年）、面積及び人口密度

都道府県	設 定 市 町 村 数 (注)	人口集中 地区数	人口集中地区		人口集中地区 面積 (km ²)	全域に対する割合(%)		人口集中地区 人口密度 (1km ² 当たり)
			人	口		45～50年の 増加率(%)	人	
全 国	931	1,257	63,822,648	14.0				
	931	1,257	63,822,648	14.0	8,275.4	57.0	2.22	7,712
	628	943	60,972,323	13.4	7,737.4	71.8	7.56	7,880
	303	314	2,850,325	28.0	538.0	10.6	0.20	5,298
	72	90	3,240,194	9.1	546.1	60.7	0.70	5,933
青 森	13	17	562,118	11.8	108.2	38.3	1.13	5,195
	13	14	356,878	8.9	58.6	25.8	0.38	6,090
	20	26	911,768	21.8	143.4	46.6	1.97	6,358
	13	14	340,938	11.8	61.4	27.7	0.53	5,553
	16	20	435,679	10.7	74.4	35.7	0.80	5,856
福 島	14	23	557,846	8.6	100.0	28.3	0.73	5,578
	20	22	548,449	17.0	96.0	23.4	1.58	5,713
	15	18	535,058	20.5	99.5	31.5	1.55	5,377
	16	19	601,294	17.5	110.7	34.2	1.74	5,432
	54	81	3,112,732	46.4	408.1	64.6	10.74	7,627
千 葉	29	56	2,393,833	40.3	328.2	57.7	6.42	7,294
	29	37	11,278,685	3.7	914.6	96.6	42.63	12,332
	26	52	5,400,872	25.9	681.1	84.4	28.49	7,930
	33	39	952,533	10.2	154.0	39.8	1.22	6,185
	16	21	402,461	14.3	70.5	37.6	1.66	5,709
石 川	13	17	406,597	16.3	55.4	38.0	1.32	7,339
	12	13	287,630	7.1	46.2	37.2	1.10	6,226
	10	11	241,164	9.4	37.5	30.8	0.84	6,431
	26	31	580,811	3.2	105.5	28.8	0.78	5,505
	22	29	677,859	13.8	105.9	36.3	1.00	6,401
静 岡	37	45	1,614,295	13.9	263.3	48.8	3.39	6,131
	49	78	3,634,569	18.2	521.4	61.4	10.20	6,971
	20	27	588,050	23.5	111.2	36.2	1.93	5,288
	8	12	245,590	28.1	41.1	24.9	1.02	5,975
	15	22	1,829,521	11.9	181.0	75.4	3.92	10,108
大 阪	39	57	7,682,085	11.9	725.4	92.8	39.03	10,590
	30	53	3,455,442	10.0	386.8	69.2	4.63	8,933
	17	21	470,144	37.0	73.2	43.6	1.98	6,423
	12	14	448,070	6.5	71.5	41.8	1.51	6,267
	4	6	151,707	12.6	25.4	26.1	0.73	5,973
鳥 取	10	10	167,995	1.7	31.3	21.8	0.47	5,367
	10	20	560,615	13.1	109.5	30.9	1.55	5,120
	23	38	1,478,187	16.9	211.9	55.9	2.51	6,976
	15	20	645,924	6.0	141.7	41.5	2.32	4,558
	5	5	200,201	7.2	34.7	24.9	0.84	5,769
香 川	9	11	297,291	3.2	51.1	30.9	2.72	5,818
	16	18	560,621	12.3	98.7	38.3	1.74	5,680
	11	12	288,369	12.9	40.2	35.7	0.57	7,173
	37	42	2,517,806	10.8	384.3	58.6	7.77	6,552
	10	11	204,864	4.4	36.4	24.5	1.51	5,628
長 崎	10	13	604,950	4.2	76.2	38.5	1.86	7,939
	12	13	547,993	6.2	88.1	31.9	1.19	6,220
	11	14	412,375	16.7	68.9	34.6	1.09	5,985
	9	11	334,046	20.2	62.5	30.8	0.81	5,345
	16	17	528,144	10.4	77.5	30.6	0.85	6,815
熊 本	14	17	528,395	14.3	56.8	50.7	2.53	9,303

(注) 東京都の特別区部は、1市として数えた。

図-1 東京50キロ圏人口集中地区の拡大状況



東京都、大阪府では人口の9割以上が、人口集中地区に居住

都道府県別に人口集中の度合いをみると、東京都では、その総人口の96.6%が、次いで、大阪府が92.8%と、実に9割以上もの方が人口集中地区に住んでいる。以下、神奈川県84.4%、京都府75.4%、兵庫県69.2%、埼玉県64.6%、愛知県61.4%、北海道60.7%が高い割合を示し、福岡県(58.6%)、千葉県(57.7%)、広島県(55.9%)、沖縄県(50.7%)を加えた12都道府県では、いずれも人口の半数以上が人口集中地区に居住している。続いて、静岡、宮城、奈良、和歌山、山口の5県では40%台、青森県をはじめ20県では30%台、残る岩手県ほか9県では20%台となっている。

人口集中地区では老年人口が少なく、第3次産業就業者が6割以上

人口集中地区の年齢別人口構成は、年少人口(0~14歳)が24.3%で全国の人口の割合と同じであるが、生産年齢人口(15~64歳)は69.0%と、全国の67.7%よりやや高く、また、老年人口(65歳以上)は6.6%で、全国の7.9%に比べると低い割合を示している。

産業別就業者の割合は、第1次産業が1.6%、第2次産業が35.6%、第3次産業が62.5%で、全国の割合(第1次産

業13.8%、第2次産業34.1%、第3次産業51.8%)と比べると第1次産業の割合が低いのは当然としても、第3次産業の割合が特に高く、10ポイント以上上回っている。

また、普通世帯の1世帯当たり人員は、全国の3.5人に対して、人口集中地区では3.2人と一層少なく、いわゆる核家族世帯又は単身世帯が多いことを示している。

人口集中地区の設定規準

昭和50年国勢調査の人口集中地区の設定に当たっては、

- (1) 昭和50年国勢調査調査区を基礎単位地域として用い、
- (2) 市区町村の域内で人口密度の高い調査区(原則として人口密度が1平方キロメートル当たり約4,000人以上)が隣接して、
- (3) 昭和50年国勢調査時に人口5,000人以上を有し、
- (4) 人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上となる地域を構成する場合、この地域を「人口集中地区」とした。

なお、個別の人口集中地区の中には、人口密度が4,000人に満たないものがあるが、これらは人口集中地区が都市的地域を表わすという観点から、人口集中地区に人口の少ない、公共施設、産業施設、社会施設等のある地域を含めているためである。

(統計情報vol.26より)



たのしい工作

もう少し寝るとお正月、子供の頃は正月に双六でサイコロをころがしたのですが、大人になると、一年中四角四面のテーブルの上で、サイコロをころがして遊ぶようになります。この遊びは夜更かしが多いので、あまり健康には良くないようです。

子供から大人まで、誰もが親しんでいるサイコロというしろもの、一度じっくりと見てみましょう。

材質は大体プラスチックのようですが、象牙、金属を使ったものもあります。1個のサイコロの中の密度が一定でない、ころがした時に出る目が片寄ってしまい、座頭市の仕込みがキラリと光るということになるのです。

このサイコロ、形は正六面体、つまり同じ形の面—この場合は正方形—が六つ集まって、かつ各々の頂点を作る角度が全て等しい正多面体のことなのですが、正多面体には、正四面体、正六面体、正八面体、正十二面体、正二十面体の五種類しかないのです。

さて、このサイコロの出た目によって運、不運が分かれることになるのですが、確率的に言えば、どの目もそれぞれ $\frac{1}{6}$ の確率で出ることが予想できるのです。

確率が $\frac{1}{6}$ ということはどういうことでしょうか。6回に1回の割合で必ず目的とする目がでるということではありません。6回サイコロをころがして、1回も目的の目がでないこともあれば、続けざまに何回もでることもあるのです。

確率が $\frac{1}{6}$ というのは、長い目で見れば、平均して6回に1回ぐらいの割合で目的の目がでる公算が大きい、ということを保証しているだけなのです。数学的に言えば、サイコロをころがす回数が無限に大きくなっていくにつれて、目的の目が出る回数は、ころがした回数の $\frac{1}{6}$ に限りなく近づいていく、ということの意味しているのです。これは、**確率の大数法則**というものです。

1つのサイコロをころがして、偶数、奇数が出る確率はどうか、というと、サイコロには偶数、奇数がそれぞれ3つありますから、常識で考えても $\frac{1}{2}$ とわかりますね。

計算は次のようになります。

各面の確率はそれぞれ $\frac{1}{6}$ ですから、

$$\text{偶数} \quad \frac{1}{6} + \frac{1}{6} + \frac{1}{6} = \frac{3}{6} = \frac{1}{2}$$

$$\text{奇数} \quad \frac{1}{6} + \frac{1}{6} + \frac{1}{6} = \frac{3}{6} = \frac{1}{2}$$

ということです。

マージャンの場合には、2つのサイコロを使いますから、その場合を考えてみましょう。

まず、2つのサイコロが同じ目である（ゾロ目）場合、

$$\frac{1}{6} \times \frac{1}{6} = \frac{1}{36}$$

という計算をします。これは、この場合を**独立事象**といって、あることがらの起こる確率が、ほかのことがらに影響されないときだからです。

では、2つともちがう目がでる場合、たとえばそれぞれ□と□が出るとしましょう。この場合、

$$\square, \square \text{がでる確率} \quad \frac{1}{6} \times \frac{1}{6} = \frac{1}{36}$$

$$\square, \square \text{がでる確率} \quad \frac{1}{6} \times \frac{1}{6} = \frac{1}{36}$$

両方どちらでも良いのですから、

$$\frac{1}{36} + \frac{1}{36} = \frac{2}{36} = \frac{1}{18}$$

となるのです。やはりゾロ目はでにくいのです。

さて、標本調査で無作為抽出を行う場合、良く乱数表というのを使います。その他に乱数サイコロというのを使う場合もあります。この乱数サイコロというのは、正二十面体なのです。これは、10進法に最も適しているからです。

今回は、この乱数サイコロを作ってみましょう。展開図を載せてありますから、それを厚紙に写してください。鉛筆と三角定規2つで書けます。切り取るには、ハサミよりカッターが良いようです。

切りとったら組み立てましょう。それぞれの辺がきれいにそろるように貼り合わせましょう。できたら、それぞれの面に0～9までの数字を2つずつ書き入れます。

手作りのものはどうしても多少くせがありますので、何百回かころがしてみても、一番でやすい面と最もでにくい面に同じ数字を書くことも良いでしょう。

いろいろ使い道を考えてみてください。

※



格言の泉…『酒』

「浴びて暴れるは不可」

酒を浴びるほど飲み、泥酔したあげくにケンカをし、暴れまわるなどとんでもない。UFOではあるまいし、皿が空中を飛びまわるなどたまったものではない。こんな人はもうさそわない。後始末が大変である。

「痛飲して不払いは可」

飲み始めにいた人が、勘定の時にはいなくなること。サラリーマンの相互扶助の一種。良習である。現在の共済組合のルーツではないか。ただし、たまには自分でも払うこと。

「がぶ飲みで二日酔は可」

本人以外に迷惑がかからない限り可。酒を飲んだ翌朝の普通の状態。地球の自転を実感できる時。人によっては、頭の中で釣鐘が鳴りひびくという。

「飲んで口なめらかなるは良」

酒が楽しく飲める。連れだって飲みに行く時は、一人ぐらいは話題の豊富な人を連れて行くべし。ただし、飲んべえが多いので、サイフの中を確認しておくこと。たいてい、二次会・三次会と流れていき、翌日心なしか顔色が青ざめ、帰りがけに質屋に寄る必要にせまられることがある。

「頬染めてほがらかなるは優」

理想的な飲み方。この世のうさを忘れ、別世界に遊ぶこ

とができる。しかし、われわれ凡人は、度をすごして理想を超越してしまう。

「飲めてもくずれずは秀」

酒を飲んでもくずれない。ギャンブルをしてもカッコしない。常に冷静な秀才タイプ。こんな人が狂うと歯止めがきかない。皆が酔いつぶれた時、頼りになる。

「飲みてなお斗酒を辞さずは恵」

自分が飲んべえだと思っても、世の中には上がいるもの。後始末の一手引受人。本人以外には恵。本人にとっては不恵。

「酔いて寝こむは幸」

人生で最も幸福な時間。これにまさるものなし。仕事のわずらわしさを、人間関係のもつれ、憎々しい上司の顔などはすべてこれ彼方に去り、ただひたすらに眠れる。ただし、眼がさめた時、自分が今どこにいるのかを瞬時に認識し、それに応じた行動を敏速かつ的確にとれること。

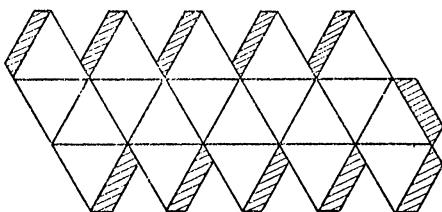
(例) 飲み屋

勘定はすんだかどうか。すんでいれば起き、すんでいなければ、すむ頃まで眠る。

(例) 電車の中

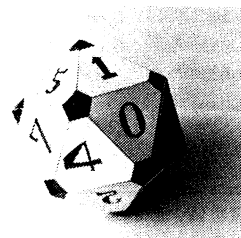
乗り越しているかどうか。この場合は、もう一度眠らないようにしなければならない。(伊藤)

※ 図-1 正二十面体展開図



斜線部はのりしろ

完成品例



(伊藤)

1 主 要

茨 城 県

年 月	世 帯 と 人 口			金 融 機 関 預 貸 金 (増 減)		手 形 交 換 高		百 貨 店	鉱 工 業 生 産 指 数 (産 業 総 合)
	世 帯	人 口	増 加 率	実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額	売 上 高	
	世 帯	人	%	億	円	千 枚	百 万 円	百 万 円	
昭和49年	568 243	2 294 443	19.52	2 172	1 398	1 537	1 065 008	34 915	202.8
50	590 459	2 342 173	16.68	3 385	1 472	1 618	1 127 165	41 237	201.2
51	602 414	2 378 220	15.39	3 639	1 626	2 028	1 405 144	46 418	225.6
51.9	601 764	2 375 088	1.32	553	191	201	128 214	3 305	225.0
10	602 414	2 378 220	1.18	14	147	186	123 320	3 846	220.6
11	603 315	2 381 016	1.39	657	6	218	140 063	3 819	224.7
12	604 195	2 384 316	1.32	948	524	253	174 315	6 601	235.9
52.1	604 857	2 387 470	1.10	△ 659	△ 140	182	141 675	3 939	213.7
2	605 532	2 390 093	0.96	△ 117	173	193	128 322	2 944	230.8
3	606 248	2 392 386	△1.08	850	258	214	149 342	4 145	250.7
4	606 220	2 389 793	3.04	△ 276	29	208	150 493	3 701	239.5
5	610 827	2 397 055	2.20	409	△ 141	211	145 910	3 580	231.9
6	612 552	2 402 322	1.30	678	260	212	159 667	3 970	239.7
7	612 927	2 405 447	1.08	226	317	203	133 568	4 542	251.7
8	613 361	2 408 045	...	△ 2	5	230	153 781	3 503	242.4
資 料	県 統 計 課			日 本 銀 行 水 戸 事 務 所					

全 国

年 月	人 口		銀 行 券	全 国 銀 行 勘 定		手 形 交 換 高		百 貨 店	鉱 工 業 生 産 指 数 (産 業 総 合)
	人 口	増 加 率	発 行 高	実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額	売 上 高	
	千 人	%	億 円 (年 月 末)		千 枚	億 円	億 円		
昭和49年	110 049	12.32	116 678	748 631	796 139	413 253	6 639 385	36 820	126.4
50	111 937	17.15	126 171	855 129	887 672	407 201	7 530 833	40 651	110.5
51	113 086	10.26	140 200	969 248	986 722	419 296	8 178 295	44 085	p 125.3
51.8	112 816	1.44	113 168	911 388	939 990	34 089	660 328	3 068	126.7
9	112 979	0.95	113 064	935 405	950 884	34 159	696 859	2 978	127.1
10	113 086	0.87	113 559	926 631	959 782	32 084	644 576	3 688	127.3
11	113 184	0.77	116 004	952 088	964 698	36 840	715 008	3 726	130.4
12	113 272	0.26	140 200	969 248	986 722	43 806	857 376	7 004	130.3
52.1	113 301	1.16	120 364	949 787	987 146	30 412	669 507	3 064	130.7
2	113 432	0.48	123 404	953 326	992 906	32 609	647 998	2 899	128.4
3	113 486	0.68	123 583	990 486	1 007 132	36 333	791 793	3 886	131.2
4	113 563	0.61	123 304	985 781	1 002 656	34 882	762 860	3 487	132.3
5	113 633	...	117 222	1 009 357	1 005 136	35 163	712 782	3 379	129.6
6	126 318	1 016 185	1 018 593	35 391	756 514	3 451	r 131.4
7	127 901	1 012 934	1 032 424	35 520	701 545	4 936	128.8
資 料	総 理 府 統 計 局		日 本 銀 行 統 計 局				通 産 省		

(注) ※は年度数値。世帯と人口の各年の数値は10月1日現在。
 全国の産業用大口電力消費量は9電力会社の計。

指 標

茨 城 県

調査産業 平均賃金	賃金指数	雇用指数	有 効 求人倍率	消 費 者 物 価 指 数 (水戸市)	家計消費支出 (水戸市) (勤労者)	産 業 用 電力消費量 (50kW以上)	建 築 着 工		年 月
							工 事 費 額	床 面 積	
円	昭50年=100			昭50年=100	円	千kWh	百万円	千㎡	
…	r 86.7	100.1	※1.46	89.5	142 806	※ 3 149 395	358 695	5 639	昭和49年
166 470	100.0	100.0	※0.81	100.0	158 185	※ 3 730 583	400 541	5 360	50
186 008	113.2	102.3	※1.04	109.1	177 776	※ 4 454 759	389 268	5 520	51
142 446	87.1	102.1	1.13	111.5	168 271	360 108	31 678	439	51.9
144 702	88.4	102.0	1.16	112.5	179 676	391 199	37 361	551	10
150 179	91.8	102.4	1.13	112.0	186 415	367 176	29 903	395	11
431 781	263.9	102.4	1.00	112.7	306 153	369 319	35 247	497	12
146 584	89.6	r 102.4	1.01	115.4	203 149	348 824	31 828	386	52.1
145 322	88.8	102.2	0.98	115.4	167 418	381 729	34 461	487	2
156 141	95.4	102.2	1.00	115.6	219 020	385 586	34 398	456	3
151 501	92.6	103.7	0.98	118.1	180 177	408 663	48 724	617	4
155 388	95.0	103.1	0.95	118.7	162 708	407 974	40 399	491	5
321 580	196.6	103.2	0.88	118.0	203 185	372 668	31 761	410	6
230 755	141.0	103.6	0.85	118.3	225 345	385 800	30 548	460	7
	95.2	103.4	0.89	118.4	184 605	373 824	…	…	8
県 統 計 課			県 職 業 課 安 定	県 統 計 課	東京電力 茨城支店	建 築 指 導 課		資 料	

全 国

調査産業 平均賃金	賃金指数	雇用指数	有 効 求人倍率	消 費 者 物 価 指 数	家計消費支出 (勤労者)	産業用大口 電力消費量	建 築 着 工		年 月
							工 事 費 額	床 面 積	
円	昭50年=100		季 調 済	昭50年=100	円	百万kWh	億円	千㎡	
154 967	87.1	102.0	1.20	89.4	142 203	※ 165 516	136 274	198 557	昭和49年
177 213	100.0	100.0	0.61	100.0	166 032	※ 164 836	146 766	196 292	50
200 242	112.8	98.3	0.64	109.3	180 662	※ 178 080	p 164 082	p 215 474	51
168 823	94.7	98.2	0.67	108.8	179 311	14 913	15 489	20 122	51.8
153 406	86.0	98.1	0.66	111.7	162 523	15 056	14 189	18 285	9
157 431	88.3	98.1	0.64	112.4	173 493	15 326	14 017	18 028	10
166 443	93.3	98.1	0.62	112.4	172 512	15 021	13 371	17 292	11
472 868	265.2	97.9	0.63	113.6	280 128	14 990	14 976	18 811	12
162 077	90.9	p 97.2	0.62	114.7	172 327	14 371	12 653	15 723	52.1
156 903	88.0	r 96.9	0.60	115.3	161 845	14 044	11 780	14 655	2
177 470	99.5	r 97.0	0.62	116.0	203 873	15 231	14 337	17 276	3
164 201	92.1	r 99.3	0.59	117.9	195 610	14 638	15 353	19 682	4
165 265	92.7	r 99.1	0.54	119.0	182 904	14 710	13 925	17 353	5
299 593	168.0	r 98.8	0.53	118.4	194 825	15 259	14 759	18 491	6
296 703	166.4	p 98.5	0.52	118.1	213 336	15 603	16 799	20 737	7
労 働 省				総 理 府 統 計 局	通 産 省	建 設 省		資 料	

2 人 口

2-1 世帯、人口および人口移動

(単位：世帯、人)

年月日	世帯数	人 口			増減数	人 口 移 動				
		総 数	男	女		自然動態		社 会 動 態		外国人 増 減
						出生	死亡	転 入	転 出	
49.10.1	568 243	2 294 443	1 135 458	1 158 985	44 794	42 619	16 897	134 347	115 127	△ 58
50.10.1	590 131	2 342 198	1 159 707	1 182 491	39 059	40 027	16 641	129 716	114 166	123
51.10.1	602 414	2 378 220	1 178 688	1 199 532	35 593	39 596	16 645	124 726	112 044	△ 40
51.10.1	602 414	2 378 220	1 178 688	1 199 532	3 132	3 249	1 172	7 729	6 687	13
11.1	603 315	2 381 016	1 180 265	1 200 751	2 796	3 196	1 236	8 360	7 494	△ 30
12.1	604 195	2 384 316	1 182 070	1 202 246	3 300	3 304	1 452	9 264	7 835	19
52.1.1	604 857	2 387 470	1 183 618	1 203 852	3 154	3 308	1 504	9 396	7 986	△ 60
2.1	605 532	2 390 093	1 185 031	1 205 062	2 623	3 231	1 660	7 936	6 914	30
3.1	606 248	2 392 386	1 186 316	1 206 070	2 293	2 919	1 529	8 120	7 250	33
4.1	606 220	2 389 793	1 184 986	1 204 807	△ 2 593	3 131	1 578	17 731	21 874	△ 3
5.1	610 827	2 397 055	1 189 112	1 207 943	7 262	3 220	1 381	19 963	14 613	73
6.1	612 552	2 402 322	1 192 166	1 210 156	5 262	3 253	1 287	11 184	7 915	27
7.1	612 927	2 405 447	1 193 674	1 211 773	3 125	3 106	1 279	8 026	6 773	45
8.1	613 361	2 408 045	1 194 876	1 213 169	2 598	3 131	1 217	7 767	7 141	58
9.1	614 208	2 412 550	1 197 267	1 215 283	4 505	3 389	1 258	10 340	7 934	△ 32

(注) 人口移動のうち (1) 昭和49年～昭和51年については各年の年間数値を示す。

資料：県統計課

(2) 昭和51年～昭和52年の月別人口移動については前月の月間数値を示す。

昭和50年10月1日の世帯数、人口については、国勢調査の確定数である。

2-2 市町村別人口と世帯

(単位：人、世帯)

市町村	昭和50年 10月1日 人口総数	52年9月1日			市町村	昭和50年 10月1日 人口総数	52年9月1日		
		人口総数	人口増加	世帯数			人口総数	人口増加	世帯数
総数	2 342 198	2 412 550	4 537	614 208	竜ヶ崎市	40 565	41 745	125	10 925
市部	1 160 352	1 192 242	2 233	324 454	那珂湊市	33 147	33 212	12	8 508
郡部	1 181 846	1 220 308	2 304	289 754	下妻市	29 235	29 897	32	7 216
水戸市	197 953	205 131	456	63 087	水海道市	38 820	39 434	3	9 388
日立市	202 383	202 459	127	56 306	常陸太田市	35 322	35 780	1	9 193
土浦市	104 028	107 252	122	30 137	勝田市	79 996	84 520	360	22 234
古河市	55 973	55 861	△ 41	15 279	高萩市	30 982	31 551	57	8 691
石岡市	43 679	45 461	118	12 187	北茨城市	44 332	44 877	22	11 893
下館市	57 778	59 015	79	14 792	笠間市	30 909	31 036	66	7 705
結城市	44 130	46 410	175	11 216	取手市	52 816	59 389	456	16 932
					岩井市	38 304	39 212	63	8 765

市町村	昭和50年 12月1日 人口総数	52年9月1日			市町村	昭和50年 10月1日 人口総数	52年9月1日		
		人口総数	人口増加	世帯数			人口総数	人口増加	世帯数
東茨城郡	132 357	135 112	234	32 460	稲敷郡	126 952	134 188	643	32 427
常澄村	9 247	9 471	20	2 084	江戸崎町	12 176	12 421	15	3 030
茨城町	30 574	31 631	76	7 294	美浦村	8 161	8 394	△ 2	1 948
小川町	17 251	17 575	50	4 143	阿見町	29 737	31 116	138	7 937
美野里村	17 159	18 092	23	4 336	牛久町	27 674	31 103	211	8 097
内原町	13 659	14 121	2	3 151	荖崎村	8 305	10 134	266	2 456
常北町	10 549	10 583	23	2 688	新利根村	8 591	8 644	△ 2	1 904
桂村	6 896	6 832	1	1 761	河内村	11 657	11 609	2	2 541
御前山村	5 356	5 255	10	1 347	桜川村	7 866	7 889	17	1 785
大洗町	21 666	21 552	29	5 656	東村	12 785	12 878	△ 2	2 729
西茨城郡	64 502	65 725	59	15 826	新治郡	92 758	100 231	348	23 106
友部町	24 146	25 065	35	6 223	出島村	17 152	17 358	△ 7	4 010
岩間町	15 012	15 176	△ 1	3 661	玉里村	6 126	6 480	22	1 487
七会村	3 015	2 946	11	669	八郷町	27 483	27 639	57	6 078
岩瀬町	22 329	22 538	14	5 273	千代田村	18 634	19 347	20	4 800
那珂郡	111 760	114 630	168	29 112	新治村	8 549	8 612	2	1 990
東海村	25 151	26 703	26	6 689	桜村	14 814	20 795	254	4 741
那珂町	34 213	35 820	80	9 186	筑波郡	91 789	95 296	250	22 283
瓜連町	7 117	7 064	△ 3	1 704	谷田部町	22 225	23 229	57	5 531
大宮町	23 489	23 776	56	6 139	伊奈村	15 250	16 929	106	3 995
山方町	9 864	9 616	5	2 504	谷和原村	10 152	10 249	35	2 254
美和村	6 151	6 021	7	1 437	豊里町	10 898	11 035	18	2 464
緒川村	5 775	5 630	△ 3	1 453	筑波町	22 011	22 162	△ 4	5 249
久慈郡	55 967	54 722	78	13 677	大穂町	11 253	11 692	38	2 790
金砂郷村	11 310	11 134	27	2 727	真壁郡	74 377	76 027	106	17 368
水府村	8 284	8 093	△ 1	1 996	関城町	14 845	15 289	34	3 398
里美村	5 507	5 343	△ 6	1 346	明野町	16 521	17 076	33	3 925
大子町	30 866	30 152	58	7 608	真壁町	20 685	20 767	3	4 913
多賀郡	10 127	10 683	26	2 740	大和村	7 319	7 367	11	1 583
十王町	10 127	10 683	26	2 740	協和町	15 007	15 528	25	3 549
鹿島郡	157 297	161 112	△ 47	38 657	結城郡	49 506	50 378	38	11 035
旭村	10 217	10 282	6	2 226	八千代町	22 160	22 340	25	4 681
銚田町	26 643	26 826	11	6 453	千代川村	8 126	8 273	12	1 851
大洋村	9 517	9 630	4	2 188	石下町	19 220	19 765	1	4 503
大野村	11 104	11 915	21	2 775	猿島郡	100 055	103 793	163	22 875
鹿島町	37 126	37 684	△ 114	9 111	総和町	32 074	33 861	62	7 821
神栖町	29 974	31 236	25	7 980	五霞村	8 636	8 626	3	1 728
波崎町	32 716	33 539	—	7 924	三和町	20 842	22 195	14	4 875
行方郡	69 983	70 569	69	16 603	猿島町	14 156	14 360	18	2 855
麻生町	18 194	18 108	14	4 117	境町	24 347	24 751	16	5 596
半堀町	6 837	6 790	△ 12	1 637	北相馬郡	44 416	47 842	169	11 585
潮来町	20 670	21 225	45	5 384	守谷町	14 505	15 797	42	3 789
北浦村	10 921	11 028	1	2 388	藤代町	20 407	22 122	93	5 482
玉造町	13 361	13 418	21	3 077	利根町	9 504	9 923	34	2 314

(注) (1) 50年10月1日については国勢調査の確定数である。

(2) 「人口増加」は住民基本台帳に基づいたもので、外国人は含まない。

資料：県統計課

3 労働

3-1 産業別賃金指数

(昭和50年=100)

年 月	調査産業計		建設業	製造業	卸売 小売業	金融 保険業	運輸 通信業	電気・ガス 水道 熱供給業	サービス業
	サービス 業を含む	サービス 業を除く							
昭和49年	r 86.7	87.0	88.3	r 88.1	r 90.4	77.8	83.4	81.6	r 87.2
50	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	113.2	112.8	105.6	112.6	114.8	121.5	113.8	109.0	114.0
51.9	87.1	88.7	82.0	89.3	89.9	83.2	91.8	80.5	80.9
10	88.4	90.0	80.5	90.3	92.6	84.7	94.8	81.5	82.4
11	91.8	92.5	86.0	91.3	91.2	85.1	107.9	81.7	88.6
12	263.9	257.1	220.6	252.5	260.4	362.1	257.5	271.2	284.3
52.1	89.6	89.2	82.2	89.6	92.8	86.5	91.2	83.8	90.3
2	88.8	89.3	82.4	89.2	96.7	83.3	92.3	84.2	86.6
3	95.4	90.8	81.2	88.8	94.2	92.1	104.1	92.7	110.2
4	92.6	92.0	94.9	91.7	95.5	88.7	94.2	84.6	93.9
5	95.0	96.6	82.8	98.7	96.0	88.6	95.3	96.6	88.7
6	196.6	190.9	88.5	189.2	166.7	311.0	200.5	253.2	213.0
7	141.0	153.6	140.2	158.9	173.0	125.0	144.7	88.8	98.0
8	95.2	97.0	92.6	96.0	106.4	89.2	104.7	88.1	88.1

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

3-2 産業別雇用指数

(昭和50年=100)

年 月	調査産業計		建設業	製造業	卸売 小売業	金融 保険業	運輸 通信業	電気・ガス 水道 熱供給業	サービス業
	サービス 業を含む	サービス 業を除く							
昭和49年	100.1	102.5	112.2	103.4	101.1	97.0	96.1	92.1	89.1
50	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	102.3	101.5	91.5	101.0	111.2	93.3	104.0	103.3	106.1
51.9	102.1	101.1	89.4	101.2	111.9	86.6	102.3	103.7	106.2
10	102.0	100.9	82.2	101.2	113.0	87.2	103.1	103.6	106.5
11	102.4	101.3	82.1	101.8	113.1	86.0	103.1	103.5	107.2
12	102.4	101.5	82.8	102.0	113.3	85.5	103.2	103.4	106.3
52.1	r 102.4	r 101.7	94.5	101.3	111.5	84.2	102.3	103.3	105.6
2	102.2	101.4	94.7	101.6	110.4	83.9	102.2	102.8	106.1
3	102.2	101.3	94.7	101.4	110.9	83.3	102.9	102.6	106.2
4	103.7	102.8	92.6	102.6	115.0	87.0	104.4	108.1	107.5
5	103.1	101.9	90.4	101.4	115.2	86.5	104.6	108.4	108.5
6	103.2	102.0	93.3	101.6	114.3	86.8	104.0	105.5	108.5
7	103.6	102.1	98.4	101.5	113.8	86.7	103.9	105.8	110.1
8	103.4	101.9	98.1	101.2	113.0	87.1	104.1	105.3	110.3

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

3-3 労働時間

(単位：1人1カ月当たり、時間)

年 月	調査産業計		建設業	製造業	卸 売 小 売 業	金 融 保 險 業	運 輸 通 信 業	電気・ガス 水 道 熱 供 給 業	サービス業	所 定 内 労働時間 調査産業計 (サービス 業を含む)
	サービス 業を含む	サービス 業を除く								
昭和49年	176.4	177.5	198.4	173.3	183.3	156.1	196.8	170.2	176.4	163.7
50	171.5	171.0	189.9	166.3	182.3	158.0	185.0	167.6	173.7	161.9
51	179.6	178.9	187.9	177.2	174.5	164.1	195.8	167.3	182.5	165.9
51.9	181.8	181.6	185.2	181.7	171.2	162.5	198.0	161.2	182.5	167.3
10	180.1	178.9	179.2	177.9	167.6	160.3	203.2	165.2	185.5	165.4
11	186.1	186.1	192.2	186.9	174.6	161.5	201.1	161.7	185.7	171.0
12	r182.6	r183.2	r201.7	r179.7	r178.3	r175.9	r205.9	r171.3	r180.4	r167.1
52.1	168.1	166.9	187.6	162.6	168.3	155.5	187.6	160.9	173.7	155.7
2	179.5	179.3	194.0	178.9	172.0	151.1	194.5	156.2	180.7	165.0
3	177.2	175.4	191.3	172.5	162.2	171.3	199.8	173.3	184.9	162.4
4	186.9	186.9	191.7	186.0	179.1	175.5	204.5	170.1	186.5	172.5
5	173.5	171.4	179.6	169.0	164.8	164.1	193.8	161.4	181.7	160.2
6	188.8	188.3	204.5	186.0	179.6	182.6	207.4	176.3	190.7	174.3
7	185.7	185.7	199.0	184.4	177.0	171.3	202.5	173.0	185.8	171.1
8	174.4	172.0	188.1	167.9	172.5	166.5	191.9	175.8	184.3	161.7

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

3-4 職業紹介

(単位：件)

年 月	一 般 職 業 紹 介 (パートタイムを含まない)						
	新規求人数 (A)	新規求職 申込件数(B)	有効求人数 (月平均) (C)	有効求職者数 (月平均) (D)	就職件数	新規求人倍率 (A/B)	有効求人倍率 (C/D)
昭和49年度	70 871	51 939	16 958	11 601	21 859	1.37	1.46
50	62 967	50 505	13 700	16 924	17 544	1.25	0.81
51	69 458	51 684	17 109	16 325	17 732	1.34	1.04
51.11	4 652	3 618	17 298	15 351	1 383	1.29	1.13
12	3 351	3 205	14 514	14 452	1 167	1.05	1.00
52.1	6 433	5 106	15 703	15 607	1 583	1.26	1.01
2	4 847	4 585	15 583	15 953	1 528	1.06	0.98
3	5 420	4 969	16 113	16 189	1 658	1.09	1.00
4	5 022	5 393	16 439	16 790	1 457	0.93	0.98
5	4 786	4 928	16 407	17 344	1 456	0.97	0.95
6	4 520	4 464	15 298	17 348	1 441	1.01	0.88
7	4 242	4 184	14 324	16 755	1 387	1.01	0.85
8	6 293	4 654	15 223	17 154	1 349	1.35	0.89
9	6 555	4 828	17 446	17 941	1 501	1.36	0.97
10	6 282	4 751	16 880	17 787	1 534	1.32	0.95

(注) 学卒・日雇・パートタイムは除く。

資料：県職業安定課

4 農 業

農産物の平均販売価格

(単位：円)

年 月	うるち米 (自由売) (玄米60kg)	生 乳 (飲用10kg)	鶏 卵 (10kg)	豚 肉 (生体10kg)	肉 用 牛 (去勢・肥育) (和牛・牝令)	乳 用 牛 (めす、生後 6カ月 ホルスタイン 純種)	ブロイラー (生体10kg)
昭和49年12月末	13 522	885	3 340	4 101	9 000	69 000	2 917
50	13 667	936	2 765	4 780	10 450	101 667	3 517
51	16 133	1 046	2 890	3 218	10 000	83 333	3 183
51.7	14 167	1 050	2 527	4 745	9 900	100 000	2 967
8	14 000	1 046	2 405	4 425	9 900	93 333	3 067
9	15 233	1 047	2 680	4 167	9 950	93 333	3 100
10	15 400	1 049	2 680	3 513	9 950	86 667	3 100
11	16 067	1 047	2 539	3 286	10 000	83 333	3 117
12	16 133	1 046	2 890	3 218	10 000	83 333	3 183
52.1	16 200	1 016	2 895	3 302	10 000	83 333	3 167
2	16 200	1 021	3 195	3 819	10 100	76 667	3 167
3	16 200	1 024	3 320	4 162	10 150	76 667	3 217
4	15 467	1 027	2 640	4 155	11 000	76 667	3 267
5	15 467	1 038	2 460	4 128	9 500	83 333	3 250
6	16 100	1 059	2 470	4 479	11 280	83 333	3 100

年 月	だいこん (1kg)	にんじん (1kg)	はくさい (1kg)	キャベツ (1kg)	な す (1kg)	きゅうり (1kg)	ピーマン (1kg)
昭和49年12月末	26	53	25	30	373	315	329
50	40	69	23	105	423	358	306
51	27	30	16	32	409	370	321
51.7	38	127	39	47	137	85	194
8	51	102	58	18	105	131	100
9	65	94	63	32	144	151	131
10	37	54	30	24	166	156	241
11	24	43	17	27	448	233	308
12	27	30	16	32	409	370	321
52.1	34	36	28	74	373	254	341
2	46	38	37	122	367	288	527
3	44	33	34	91	352	234	338
4	61	44	49	85	346	197	273
5	42	115	35	34	342	124	198
6	31	150	41	36	241	120	151

(注) (1) 価格は、それぞれの代表生産地における価格である。
(2) 野菜は、水戸市公設地方卸売市場の卸売価格による。

資料：農林省茨城統計情報事務所 (TEL0292-31-2266)
水戸市公設地方卸売市場

5 鋳 工 業

鋳工業生産指数

(昭和45年=100)

年 月	産業総合	公益事業	鋳工業	鋳業	製造工業	鉄鋼業	非鉄金属工	金属製品工	機械工業	一般機械	電気機械	
	品目数	109	2	107	6	101	9	5	5	41	7	26
	ウェイト	10 000.0	228.2	9 771.8	144.1	9 627.7	567.6	1 201.1	355.3	4 523.4	1 161.7	2 938.3
昭和49年												
50	202.8	2 143.7	157.5	45.7	159.2	352.2	124.4	200.4	124.3	168.8	111.8	
51	201.2	2 685.8	143.2	55.0	144.5	309.6	98.4	200.8	116.7	189.8	95.8	
	225.6	2 558.4	171.1	50.0	172.9	361.2	132.7	205.8	156.7	284.8	119.5	
51.10	220.6	2 686.8	163.0	46.8	164.7	421.1	140.3	211.3	130.7	195.3	115.2	
11	224.7	2 727.8	166.2	53.7	167.9	395.0	114.1	222.0	146.6	206.0	134.3	
12	235.9	2 794.1	176.2	54.7	178.0	400.2	135.7	239.0	148.6	239.3	125.8	
52.1	213.7	2 832.2	152.6	51.4	154.1	372.7	128.6	472.9	121.2	169.0	113.7	
2	230.8	3 218.7	161.0	57.6	162.5	327.5	133.0	485.0	127.9	186.7	115.0	
3	250.7	3 274.2	180.1	67.6	181.8	347.0	147.1	546.8	141.3	198.1	127.0	
4	239.5	2 726.8	181.4	50.0	183.4	334.1	145.2	486.0	144.5	219.7	127.2	
5	231.9	2 634.4	175.8	52.9	177.6	324.1	131.5	433.5	144.4	244.3	118.2	
6	239.7	2 771.2	180.6	46.7	182.6	323.4	137.4	437.5	157.4	255.5	132.7	
7	251.7	2 924.2	189.3	56.4	191.3	323.5	143.6	431.9	156.5	259.8	128.6	
8	242.4	3 073.0	176.3	57.2	178.1	315.1	136.8	397.9	135.5	234.2	107.8	
9	245.7	2 729.8	187.7	57.5	189.7	319.9	138.1	408.6	176.4	335.4	128.2	

年 月	鋳 工 業											
	製 造 工 業											
	機 械 工 業		窯 土 業 石 工 業 製品工業	化学工業	石 石 石 工 業 製品工業	油 炭 工 業	パ ル プ 紙 ・ 紙 加 工 工 業	織 維 工 業	木 木 製 工 業	材 品 工 業	食 料 品 工 業	そ の 他 の 工 業
	輸 送 機 械	精 密 機 械										
品目数	5	3	2	18	2	2	3	1	7	6		
ウェイト	273.7	149.7	627.6	157.1	168.7	162.2	130.4	246.9	779.0	708.4		
昭和49年												
50	114.3	41.0	109.8	598.7	248.0	145.4	94.5	93.5	248.8	130.1		
51	85.0	16.9	107.2	567.9	240.9	153.3	87.6	91.9	235.3	87.4		
	84.7	25.6	116.4	648.0	241.8	202.5	83.4	119.9	226.9	73.8		
51.10	72.0	40.1	118.9	694.0	255.4	221.3	77.1	99.3	195.6	88.4		
11	83.6	42.6	124.1	656.4	260.3	195.7	75.2	110.8	201.3	88.5		
12	70.8	36.4	135.7	658.8	284.2	191.6	77.8	127.1	246.7	91.5		
52.1	46.5	33.7	73.9	690.8	252.0	185.9	55.3	121.3	108.4	73.3		
2	69.1	32.4	125.8	680.3	253.9	195.1	66.3	118.7	147.2	78.6		
3	112.1	35.9	134.5	725.7	260.9	209.8	66.5	99.8	226.8	79.9		
4	69.6	37.0	116.1	780.5	255.2	198.5	63.0	94.9	272.5	85.5		
5	66.3	27.1	114.4	743.4	253.4	212.4	61.4	120.6	256.0	81.5		
6	70.0	38.5	120.3	137.0	140.5	218.8	69.5	132.0	336.0	116.6		
7	82.5	38.4	132.3	649.2	210.0	210.7	66.6	87.1	343.1	101.8		
8	69.8	31.7	114.3	736.6	260.2	230.1	62.3	95.5	338.9	74.6		
9	95.0	36.9	118.5	696.2	254.8	201.6	63.3	100.6	239.6	79.5		

資料：県統計課

6 建築

建築主別建築着工

(単位：百万円、千㎡)

年 月	総 数		建 築 主					
			官 公 庁		会 社 其 他 の 法 人		個 人	
	床 面 積	工 事 費 予 定 額	床 面 積	工 事 費 予 定 額	床 面 積	工 事 費 予 定 額	床 面 積	工 事 費 予 定 額
昭和49年	5 639	358 695	811	74 969	1 864	114 639	2 964	169 088
50	5 360	400 541	961	118 801	1 391	96 043	3 007	185 696
51	5 520	389 268	802	84 178	1 443	99 371	3 275	205 719
51.3	513	40 856	113	16 747	110	6 537	290	17 571
4	495	32 629	70	6 110	115	7 353	310	19 166
5	507	35 344	78	8 140	152	10 417	277	16 787
6	495	35 122	74	7 450	145	10 155	276	17 517
7	482	33 737	56	6 459	83	5 252	343	22 026
8	457	30 969	50	4 813	123	8 268	284	17 888
9	439	31 678	85	8 360	121	8 566	233	14 752
10	551	37 361	71	5 783	230	16 502	250	15 076
11	395	29 903	60	6 023	104	8 975	231	14 905
12	497	35 247	63	6 149	98	6 869	336	22 229
52.1	386	31 828	53	7 317	114	9 846	219	14 666
2	487	34 461	91	8 965	137	8 733	259	16 763

(注) 官公庁とは、国、都道府県、市町村を加えたものである。

資料：県建築指導課

7 電 力

産業別電力消費量

(単位：千kWh)

年度・月	総 数	農林・水産 養殖業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	運 輸 通 信 業	電 気 ・ ガ ス 水 道 業	そ の 他 の 産 業
昭和49年度	3 149 395	5 755	49 734	34 524	2 717 440	140 085	98 370	103 487
50	3 730 583	4 956	48 650	41 317	3 253 192	149 494	104 476	128 498
51	4 454 759	5 715	51 163	37 280	3 902 439	154 868	109 289	194 005
51.10	391 199	422	4 388	3 081	347 299	12 663	9 019	14 327
11	367 176	418	4 331	3 174	320 493	12 785	8 796	17 179
12	369 319	485	4 397	3 404	320 385	14 007	9 114	17 527
52.1	348 824	586	4 470	3 296	298 969	14 221	9 655	17 627
2	381 729	608	4 228	3 299	331 615	12 805	9 065	20 109
3	385 586	573	4 366	3 249	336 047	13 547	9 314	18 490
4	408 663	592	4 251	3 067	361 975	11 836	9 556	17 386
5	407 974	518	4 176	2 199	359 514	12 043	9 414	20 110
6	372 668	431	4 198	1 985	324 899	11 659	8 898	20 598
7	385 800	507	4 291	2 143	335 722	12 757	9 711	20 669
8	373 824	542	4 387	2 187	322 510	13 434	10 269	20 495
9	386 947	535	4 312	2 072	337 604	12 489	9 939	19 996

(注) 数値は東京電力茨城支店の50kW以上の電力販売量である。
なお、東電以外の自家発電は含まれない。

資料：東京電力茨城支店 (TEL0292-25-1511)

8 金 融

金融機関別実質預金・貸出残高

(単位：億円)

年 月	総 額		銀 行		相 互 銀 行		信 用 金 庫		信 用 組 合	
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出
昭和49年末	17 392	10 705	9 829	5 624	1 934	1 396	1 703	1 264	1 283	934
50	20 715	12 177	11 745	6 357	2 240	1 614	2 005	1 453	1 488	1 076
51	23 959	13 746	13 588	7 096	2 535	1 829	2 333	1 704	1 727	1 259
51.8	21 787	12 879	12 575	6 644	2 339	1 725	2 142	1 555	1 551	1 132
9	22 340	13 070	12 936	6 722	2 427	1 762	2 147	1 570	1 587	1 167
10	22 355	13 217	12 752	6 816	2 386	1 774	2 163	1 595	1 588	1 167
11	23 011	13 223	13 261	6 808	2 403	1 761	2 196	1 630	1 604	1 191
12	23 959	13 746	13 588	7 096	2 535	1 829	2 333	1 704	1 727	1 259
52.1	23 300	13 606	13 250	7 056	2 449	1 797	2 296	1 678	1 671	1 233
2	23 183	13 779	13 209	7 133	2 439	1 820	2 289	1 703	1 667	1 254
3	24 033	14 038	13 985	7 234	2 505	1 861	2 302	1 735	1 704	1 288
4	23 757	14 067	13 744	7 299	2 482	1 831	2 315	1 726	1 693	1 273
5	24 166	13 925	14 104	7 112	2 507	1 843	2 350	1 734	1 704	1 267
6	24 844	14 185	14 444	7 299	2 569	1 868	2 399	1 751	1 732	1 278
7	25 070	14 502	14 552	7 505	2 595	1 912	2 435	1 775	1 756	1 289

年 月	労 金		商 工 中 金		農 協		漁 協		郵 便 貯 金 (総額には含まない)
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	
昭和49年末	228	187	71	221	2 308	1 003	37	77	453
50	296	213	88	286	2 808	1 099	45	79	449
51	387	254	99	347	3 233	1 181	57	78	540
51.8	337	231	96	320	2 696	1 198	51	74	249
9	337	236	99	327	2 756	1 213	52	72	250
10	339	243	106	334	2 963	1 216	57	70	283
11	341	247	114	347	2 030	1 172	61	67	261
12	387	254	99	347	3 233	1 181	57	78	540
52.1	383	253	100	345	3 099	1 166	54	78	299
2	383	259	110	347	3 031	1 182	56	82	236
3	394	269	101	346	2 970	1 212	73	93	299
4	390	275	106	343	2 967	1 235	60	84	327
5	391	280	106	346	2 940	1 262	64	81	341
6	424	282	111	358	3 100	1 267	66	81	349
7	438	290	102	366	3 128	1 283	64	82	333

資料：日本銀行水戸事務所 (TEL0292-24-2734)
水戸郵便局調査課 (TEL0292-21-2297)

9 物 価

水戸市の消費者物価指数

(昭和50年=100)

年 月	総 合	対 前 月	対 前 年	食 料	う ち 主 食	副 食 品	住 居	光 熱	被 服
		上 昇 率	(同 月)						
		(%)	(%)						
昭和49年	89.5	—	25.8	88.4	84.8	91.4	91.3	85.8	97.0
50	100.0	—	11.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	109.1	—	9.1	109.1	111.5	109.0	106.1	106.3	109.1
51.10	112.5	0.9	8.8	113.3	117.2	110.0	108.8	113.1	114.2
11	112.0	△ 0.4	9.2	110.9	118.6	108.0	108.9	113.1	115.0
12	112.7	0.6	9.4	109.8	118.5	107.0	109.0	113.3	113.7
52.1	115.4	2.4	9.5	116.1	118.6	113.9	109.3	113.3	112.7
2	115.4	0.0	9.1	115.8	118.6	117.3	109.6	113.3	112.2
3	115.6	0.2	9.2	115.5	118.7	116.0	109.7	113.3	114.5
4	118.1	2.2	9.8	117.8	117.7	120.0	112.5	113.3	116.3
5	118.7	0.5	9.4	115.8	118.1	115.1	112.7	113.3	122.9
6	118.0	△ 0.6	7.8	113.2	118.0	113.0	113.2	113.3	123.7
7	118.3	0.3	7.9	113.4	118.0	112.3	113.3	113.3	126.0
8	118.4	0.1	9.6	115.4	118.0	115.2	113.6	113.3	119.0
9	120.4	1.7	8.0	120.5	123.8	122.7	114.7	113.3	118.9

年 月	雑 費	う ち	理 容	交 通	自 動 車 等	教 育	文 房 具	教 養 娯 楽
		保 健 医 療	衛 生	通 信	関 係 費			
昭和49年	87.1	88.4	90.1	84.9	91.0	81.2	95.5	85.8
50	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	110.2	105.1	111.3	110.3	102.9	120.6	103.7	107.9
51.10	111.6	106.6	113.7	106.6	103.4	126.1	104.4	110.2
11	112.8	107.2	116.0	115.9	102.7	126.1	104.4	109.5
12	117.0	107.2	116.3	144.9	102.1	126.1	104.4	109.9
52.1	117.6	107.2	122.9	144.9	102.4	126.1	108.4	109.6
2	118.2	108.6	122.9	144.9	102.4	126.1	111.9	110.7
3	118.2	108.6	122.8	144.9	102.5	126.1	111.9	110.8
4	121.3	108.6	124.5	153.1	102.8	141.4	113.9	111.7
5	122.9	108.8	124.7	154.3	102.8	143.8	113.9	114.8
6	123.4	108.8	124.6	155.5	103.1	143.8	113.9	115.7
7	123.2	108.8	124.6	155.5	103.1	143.8	113.9	115.0
8	123.7	108.8	125.5	155.5	103.2	143.8	113.9	116.0
9	123.4	109.3	125.6	155.5	103.4	143.8	113.0	115.0

資料：県統計課

10 経 済

年 月	財政資金(百万円)		銀行券受払高(百万円)		手 形 交 換 高 (千枚)	不 渡 手 形 (枚)	信用保証(件)		証券取引高(百万円)	
	取 入	支 払	受 入	払 渡			保証承諾	代位弁済	株 式	公 社 債
昭和49年	356 807	421 391	364 271	400 205	1 537	10 273	18 923	207	169 051	81 326
50	399 675	514 349	406 359	446 955	1 618	10 724	22 466	317	178 379	69 862
51	440 290	598 922	438 614	489 408	2 028	14 089	23 323	451	261 852	133 834
51.9	35 956	66 130	29 025	32 939	201	1 699	1 706	41	17 632	17 573
10	29 237	51 709	27 075	32 850	186	1 514	1 831	13	17 936	13 007
11	38 608	82 857	26 306	35 674	218	2 103	2 165	49	22 926	18 672
12	48 193	55 325	55 426	99 595	253	1 701	3 395	33	33 656	9 945
52.1	41 680	22 254	63 450	25 897	182	1 335	1 113	18	27 671	11 730
2	31 555	22 740	32 636	38 413	193	1 561	1 563	58	20 678	19 765
3	53 421	81 770	33 698	40 117	214	1 741	1 912	59	19 251	19 333
4	37 532	71 274	33 806	33 783	208	1 723	1 633	71	18 196	11 877
5	51 716	47 751	36 640	33 270	211	1 751	1 739	30	16 594	31 317
6	42 590	81 891	43 099	57 485	212	1 507	1 942	33	15 528	25 984
7	43 079	34 950	35 813	32 377	203	1 352	1 979	52	19 403	29 798
8	44 645	24 265	42 799	33 450	230	1 963	1 750	29	32 697	22 526

資料：日本銀行水戸事務所（TEL0292-24-2734）

11 消費生活相談

(単位：件)

年 月	受付件数	内 容 別 延 件 数								
		安 全 衛 生	品 質 機 能	価 格 金	表 示・広 告 包 装	販 売 方 法 契 約 サ ー ビ ス	ク リ ー ニ ン グ	買 物	そ の 他	
昭和49年	2 354	538	481	168	138	205	33	41	750	
50	2 944	694	790	122	159	314	61	68	922	
51	2 441	763	660	113	91	350	83	38	477	
51.11	177	52	44	11	6	32	8	—	27	
12	163	54	32	10	3	32	4	1	27	
52.1	196	46	62	9	10	41	4	2	22	
2	281	83	60	10	14	34	10	—	69	
3	205	66	51	6	3	35	8	2	34	
4	195	56	42	10	6	26	9	—	26	
5	224	53	72	11	8	64	8	3	72	
6	336	105	99	14	24	57	7	2	79	
7	249	93	87	6	23	38	9	4	45	
8	280	118	114	10	19	41	9	7	42	
9	293	104	112	20	24	56	8	6	47	
10	257	100	98	6	22	40	3	3	46	

資料：茨城県消費生活センター（TEL0292-24-4722）

12 家 計

12-1 家計主要指標

(単位：円，%)

年 月	勤 勞 者 世 帯								全 世 帯		消 費 者 物 価 指 数
	実 収 入	(1) 可 処 分 得	消 費 支 出	(2) 黒 字	貯 蓄 純 増	(3) 平 均 消 費 性 向	(4) 実 質 実 収 入 指 数	(4) 実 質 消 費 支 出 指 数	消 費 支 出	(5) エ ン ゲ ル 係 数	
水 戸 市											
昭和49年	205 792	187 865	142 806	45 059	27 634	76.0	106.5	100.9	132 200	30.5	89.5
50	215 932	197 019	158 185	38 834	27 159	80.3	100.0	100.0	152 207	30.8	100.0
51	261 162	235 528	177 776	57 752	42 802	75.5	110.9	103.0	178 217	29.1	109.1
51.10	218 595	195 547	179 676	15 871	360	91.9	90.0	101.0	173 169	30.3	112.5
11	249 881	223 633	186 415	37 218	21 121	83.4	103.3	105.2	181 156	27.9	112.0
12	650 250	596 293	306 153	290 140	210 322	51.3	267.2	171.7	291 111	25.2	112.7
52.1	217 046	194 200	203 149	△ 8 948	4 737	104.6	87.1	111.3	196 107	24.9	115.4
2	214 854	192 772	167 418	25 354	10 295	86.8	86.2	91.7	159 790	31.6	115.4
3	256 783	229 797	219 020	10 777	1 501	95.3	102.9	119.8	195 621	27.5	115.6
4	203 398	182 145	180 177	1 969	△12 741	98.9	79.8	96.4	171 851	28.6	118.1
5	203 883	178 752	162 708	16 043	10 575	91.0	79.5	86.7	153 064	32.3	118.7
6	477 132	423 371	203 185	220 186	160 968	48.0	187.3	108.9	183 612	27.5	118.0
7	291 522	256 571	225 345	31 225	10 390	87.8	114.1	120.4	200 336	26.7	118.3
8	227 233	196 345	184 605	11 740	△13 716	94.0	88.9	98.6	172 313	31.6	118.4
9	235 039	204 383	168 825	35 558	26 153	82.6	90.4	88.6	157 567	34.0	120.4
全 国											
昭和49年	205 792	187 825	142 203	45 622	30 211	75.7	97.4	95.7	136 024	32.6	89.4
50	236 152	215 508	166 032	49 476	31 875	77.0	100.0	100.0	157 982	32.0	100.0
51	258 237	233 461	180 662	52 799	32 286	77.4	100.0	99.6	174 790	31.6	109.3
51.10	214 139	192 660	173 493	19 167	9 918	90.1	80.7	93.0	171 531	32.6	112.4
11	216 910	194 195	172 512	21 683	7 459	88.8	81.8	92.4	171 555	31.3	112.4
12	591 338	540 972	280 128	260 844	183 217	51.8	220.4	148.5	261 001	28.9	113.6
52.1	211 091	189 083	172 327	16 756	28 588	91.1	77.9	90.5	171 367	27.6	114.7
2	210 981	189 161	161 845	27 316	2 440	85.6	77.5	84.6	158 263	32.6	115.3
3	253 777	226 994	203 873	23 121	11 564	89.8	92.6	105.9	197 641	29.3	116.0
4	228 921	202 114	195 610	6 504	△13 931	96.8	82.2	99.9	191 271	29.7	117.9
5	225 920	196 907	182 904	14 003	5 360	92.9	80.4	92.6	179 817	32.8	119.0
6	372 658	334 917	194 825	140 092	99 265	58.2	133.3	99.1	185 486	31.1	118.4
7	339 999	306 577	213 336	93 241	71 774	69.6	121.9	93.3	199 155	30.0	118.1
8	252 293	225 729	199 419	26 310	10 960	88.3	90.4	101.7	192 158	32.0	118.1
9	231 865	206 465	178 596	27 869	11 835	86.5	81.7	89.5	172 419	33.0	120.2

(注) (1) 実収入－非消費支出 (2) 可処分所得－消費支出
 (3) 消費支出÷可処分所得 (4) 当該項目(50年=100)÷消費者物価指数
 (5) 食料費÷消費支出

資料：総理府統計局

12-2 1カ月1世帯当りの収入（水戸市・勤労者世帯）

（単位：世帯、人、歳、円）

年 月	集 計 世帯数	世 帯 人 員	有 業 人 員	世帯主 の年齢	収 入 総 額	実収入				実収入 以外の 収 入	前 月 からの 繰入金
						勤め先 収 入	事業・ 内 職 収 入	他 の 実収入			
昭和49年	60	3.95	1.45	41.1	315 154	205 792	189 991	5 437	10 364	47 771	61 592
50	63	3.92	1.36	40.5	331 000	215 932	206 190	2 061	7 681	49 367	65 700
51	65	3.62	1.30	41.6	398 315	261 162	243 709	4 056	13 397	64 499	72 653
51.10	66	3.52	1.32	42.2	355 182	218 595	201 913	5 151	11 531	67 878	68 709
11	63	3.70	1.43	41.8	385 343	249 881	226 824	7 019	16 038	66 859	68 602
12	68	3.72	1.38	42.1	817 062	650 250	623 860	8 491	17 900	98 292	68 519
52.1	67	3.73	1.36	41.4	373 016	217 046	197 879	3 231	15 936	65 842	90 127
2	66	3.73	1.33	41.7	344 084	214 854	198 757	7 361	8 737	57 898	71 332
3	66	3.70	1.30	41.7	432 778	256 783	231 088	6 654	19 041	102 856	73 140
4	65	3.62	1.26	40.4	334 239	203 398	190 053	2 185	11 160	73 160	57 681
5	65	3.49	1.22	40.0	314 330	203 883	194 911	2 267	6 705	50 567	59 879
6	63	3.56	1.24	41.4	592 749	477 132	466 311	2 233	8 588	51 017	64 600
7	64	3.55	1.25	41.6	494 118	291 522	279 404	2 658	9 460	112 556	90 040
8	66	3.58	1.29	42.0	401 066	227 233	213 810	4 394	9 030	92 529	81 303
9	67	3.51	1.30	41.6	371 026	235 039	225 152	3 662	6 225	56 438	79 549

（注） 集計世帯数，世帯人員，有業人員，世帯主年齢は支出にも該当する。

資料：総理府統計局

12-3 1カ月1世帯当たりの支出（水戸市・勤労者世帯）

（単位：円）

年 月	実支出	消 費 支 出						非消費 支 出	実支出 以外の 支 出	繰越金	現 物 総 額
		計	食料費	住居費	光熱費	被服費	雑 費				
昭和49年	160 734	142 806	41 585	12 951	5 073	15 942	67 255	17 927	89 385	65 036	8 101
50	177 098	158 185	47 170	13 461	6 164	16 473	74 917	18 913	86 349	67 552	7 978
51	203 411	177 776	50 188	17 189	6 243	18 664	85 493	25 634	120 910	73 994	11 720
51.10	202 724	179 676	50 193	21 740	6 054	18 327	83 362	23 048	81 699	70 759	7 944
11	212 663	186 415	50 162	19 995	6 481	19 427	90 351	26 248	93 982	78 698	11 980
12	363 310	306 153	71 732	40 590	9 835	38 210	145 786	57 157	364 231	89 521	25 499
52.1	225 995	203 149	48 237	11 670	9 544	18 820	114 877	22 846	79 308	67 713	16 540
2	189 500	167 418	50 440	14 419	10 565	14 014	77 980	22 082	78 546	76 037	5 713
3	246 006	219 020	55 327	16 928	9 445	20 345	116 975	26 986	124 426	62 346	6 374
4	201 429	180 177	51 554	13 663	7 476	14 538	92 945	21 253	68 996	63 814	7 211
5	187 840	162 708	49 916	16 125	6 222	17 331	73 114	25 131	68 260	58 230	6 212
6	256 946	203 185	52 512	19 895	6 315	20 591	103 872	53 761	242 225	93 578	8 468
7	260 297	225 345	54 837	30 706	5 291	19 314	115 198	34 951	152 182	81 639	13 716
8	215 493	184 605	53 495	15 032	5 199	14 975	95 905	30 888	109 024	76 549	11 927
9	199 481	168 825	52 923	15 597	4 906	16 517	78 883	30 656	91 748	79 797	8 138

資料：総理府統計局

13 レジャー

(単位：円、件)

年 月	勤 労 者 世 帯 (水戸市)		旅 券 交 付 件 数 (観光訪問・その 他個人的目的)	旅 行	
	外 食 費	教 養 娛 楽 費 (印刷物・聴視観 覧料・旅行費等)		国 内 (総合旅行・パック)	外 外 国 (パック)
昭和49年	4 438	12 568	16 390	—	—
50	5 334	13 475	16 588	—	—
51	p 7 664	p 14 953	21 592	3 232	446
51.8	7 902	16 802	2 151	416	13
9	6 404	12 296	2 476	207	23
10	6 559	13 868	2 217	466	71
11	7 690	12 091	1 450	369	56
12	9 936	25 734	2 146	144	48
52.1	8 813	14 290	2 312	107	23
2	7 236	13 162	2 135	…	32
3	7 089	22 103	2 602	…	62
4	6 240	29 378	2 301	…	44
5	6 366	14 755	2 366	…	73
6	7 936	15 372	2 302	…	20
7	9 149	33 326	2 182	…	…

(注) 「外食」「教養娯楽」は、抽出調査によるため、対象は水戸市内の少数世帯に限られている。

資料：総理府統計局，県民福祉課
日本交通公社水戸支店業務課 (TEL0292-25-5231)

14 保 健 相 談

保健婦活動状況

(単位：世帯、人、回)

年 月	家 庭 訪 問		家 庭 訪 問 以 外 (実施回数)			
	被訪問世帯数	被訪問延人員	健 康 相 談	集 団 検 診 集 団 保 健 指 導	子 防 接 種	衛 生 教 育
昭和49年	80 964	100 424	3 555	4 031	5	2 178
50	87 354	107 835	3 600	3 890	4	2 559
51	p 89 345	p 112 554	p 3 571	p 3 933	p 20	p 2 644
51.7	…	…	…	…	…	…
8	…	…	…	…	…	…
9	20 599	26 393	907	1 316	15	785
10	…	…	…	…	…	…
11	…	…	…	…	…	…
12	22 321	27 474	901	917	3	628
52.1	…	…	…	…	…	…
2	…	…	…	…	…	…
3	21 824	26 599	892	857	—	697
4	…	…	…	…	…	…
5	…	…	…	…	…	…
6	23 486	29 311	875	750	—	603

資料：県医務課

15 交通 事故

交通事故発生件数

(単位：人、件)

年 月	発生件数	死 者	負 傷 者	原 因 別 発 生 件 数								
				安 全 運 転 義 務 違 反			酒 酔 い	最 高 速 度 違 反	追 越 し	徐 行	一 時 停 止 違 反	
				わ き 見 方 前 不 注 意	安 全 速 度	ハ ン ド ル プ レ ー キ 操 作 不 適 当						
昭年49年	11 850	480	16 114	3 025	1 414	341	1 072	322	482	594	397	
50	11 515	425	15 493	2 929	976	521	934	750	393	606	420	
51	11 040	374	14 877	2 888	847	532	839	631	468	702	416	
51.10	901	16	1 206	225	75	27	77	70	36	62	26	
11	923	22	1 201	262	60	42	88	43	39	70	25	
12	969	35	1 331	298	76	31	83	51	41	56	33	
52.1	837	29	1 174	237	75	62	83	44	26	39	40	
2	720	22	962	220	54	29	58	31	27	51	29	
3	863	33	1 133	270	75	44	69	59	32	43	37	
4	924	35	1 164	299	73	30	93	59	27	63	39	
5	845	27	1 163	230	69	26	67	59	25	71	39	
6	861	29	1 179	240	69	39	66	35	27	78	24	
7	900	24	1 253	265	86	40	68	40	36	75	40	
8	962	26	1 384	270	68	42	47	40	28	76	41	
9	824	20	1 107	248	81	24	59	55	29	64	25	

(注) 原因別発生件数はうち書きであるため、その計は発生件数と一致しない。

資料：県警察本部交通企画課

16 交通事故保障相談

自動車保険請求相談件数

(単位：件)

年 月	総 数			自 賠			保 障			任 意		
	被 害 者	加 害 者	そ の 他	被 害 者	加 害 者	そ の 他	被 害 者	加 害 者	そ の 他	被 害 者	加 害 者	そ の 他
昭和49年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
50	502	300	235	443	274	198	19	4	6	9	3	—
51	536	286	334	442	251	284	40	4	18	10	8	8
51.10	50	24	21	40	20	19	1	1	1	4	—	1
11	35	28	27	32	27	25	1	—	1	—	—	1
12	41	42	27	28	32	23	4	1	1	2	2	—
52.1	43	21	37	32	16	30	4	—	2	2	1	—
2	46	25	35	39	23	28	5	—	1	1	2	—
3	41	28	41	39	27	36	2	—	3	—	—	—
4	46	17	37	37	16	30	4	1	1	—	—	1
5	54	29	36	40	25	28	5	1	2	2	1	—
6	48	14	42	34	13	36	2	—	3	—	—	2
7	38	19	51	34	18	42	2	—	4	—	—	3
8	44	22	45	33	19	37	2	—	4	2	—	—
9	35	23	57	30	20	51	1	—	2	1	—	1

(注) (1) 自賠、保障、任意はうち書のため総数と合計は合わない。
 (2) 自賠＝自動車損害賠償責任保険、保障＝政府保障事業で、保険によらず直接運輸大臣あて請求するもの（無保険・引き逃げ）、任意＝民間の保険。

資料：日本損害保険協会水戸自動車
 保険請求相談センター
 (TEL0292-26-1693)

17 犯 罪

刑法犯罪発生件数

(単位：件)

年 月	総 数 (認知件数)	凶 悪 犯	粗 暴 犯	窃 盗	知 能 犯	風 俗 犯	そ の 他
昭和49年	21 544	234	1 510	18 413	612	102	673
50	21 814	351	1 347	18 696	604	147	669
51	21 213	253	1 319	17 843	946	106	746
51.11	1 800	31	100	1 431	166	3	69
12	2 120	24	155	1 699	83	9	150
52.1	1 443	22	94	1 219	45	5	58
2	1 674	23	105	1 409	76	6	55
3	1 515	25	123	1 203	66	11	87
4	1 656	13	130	1 330	82	16	85
5	1 879	25	103	1 630	46	13	62
6	1 505	19	124	1 222	48	18	74
7	1 486	32	102	1 239	37	10	66
8	1 818	13	127	1 542	75	9	52
9	1 895	17	120	1 640	44	13	61
10	1 910	9	96	1 493	249	11	52

資料：県警察本部刑事総務課

18 火 災

(単位：件, 世帯, 棟, 人)

年 月	発生件数	罹災世帯数	罹災人員数	死 傷 者 数		焼損棟数	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)
				死 者	負 傷 者		建 物 (㎡)	林 野 (a)	
昭和49年	1 596	641	2 412	35	132	1 066	51 568	27 230	2 380 994
50	1 586	618	2 227	41	208	1 023	46 112	9 792	2 060 975
51	1 593	645	2 368	48	110	1 079	47 092	9 419	2 390 756
51.11	82	45	158	6	9	75	2 807	8	147 232
12	178	75	256	9	8	125	10 862	262	775 959
52.1	202	80	273	5	17	145	8 170	439	449 981
2	270	103	354	10	17	175	7 511	1 360	331 357
3	232	72	269	8	16	131	4 901	687	133 547
4	147	72	230	5	11	122	4 854	483	244 724
5	130	53	175	1	4	97	4 599	3 485	311 528
6	71	35	120	3	9	61	2 736	13	133 407
7	79	44	187	1	13	70	2 950	18	105 441
8	77	39	135	1	11	69	3 111	3	533 345
9	68	24	87	1	9	52	1 463	83	127 914
10	74	32	126	3	5	57	2 268	5	131 184

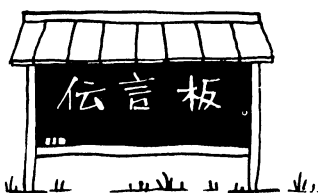
資料：県消防防災課

【新着資料案内】

この資料は、9月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。
行政資料室 付属庁舎4階 TEL0292-21-8111 (内線427)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央官公庁関係			
昭和50年 国勢調査・第1巻 人口総数	総理府統計局	昭和52年版 中小企業白書	中小企業庁
昭和50年 " 人口集中地区別人口	"	昭和51年 国民生活統計年報	国民生活センター
昭和50年 " 第2巻全国編(全数)	"	昭和52年 民力	朝日新聞社
昭和50年 " 第3巻 三重県編	"	昭和51年度 営業成績	水戸鉄道管理局
昭和50年 " " 兵庫県編	"	昭和51年度 鉄鋼需要の分析	鉄鋼統計委員会
昭和50年 " " 京都府編	"	昭和51年版 経済統計年報	日本銀行
昭和50年 " " 北海道編	"	昭和51年版 都道府県別経済統計	"
昭和50年 " シリーズ、宮崎県の人口	"	昭和51年版 物価指数年報	"
昭和50年 " " 広島県の人口	"	茨城県関係	
昭和50年 " " 滋賀県の人口	"	奥久慈県立自然公園計画	県環境指導課
昭和50年 " " 愛媛県の人口	"	奥久慈県立自然公園学術調査報告書	"
昭和51年 住民基本台帳人口移動報告年報	"	昭和51年度 公害苦情等の概況	"
昭和52年版 交通安全白書	"	県における水質保全対策の概要	水質保全課
昭和52年版 観光白書	"	霞ヶ浦水質の現況と対策	"
昭和51年版 科学技術年報	科学技術庁	昭和52年 茨城県職員録	人事課
昭和52年版 県民所得統計年報	経済企画庁	昭和52年 茨城県行政組織等規程集	"
昭和50年 生産農業所得統計	農林省	職員の福利厚生概要	職員課
昭和50年度 米及び麦類の生産費	"	昭和51年度 消防年報	消防防災課
昭和51年度 農業白書	"	E D P S コンピュータのあゆみ	電子計算課
昭和51年度 " 付属統計表	"	水戸・日立都市圏における住宅需要調査結果	特定開発課
昭和50年版 食糧管理統計年報	食糧庁	地下水の採取の適正化について	水資源対策課
昭和48年度 工業統計表産業編	通商産業省	交通安全対策の実施状況	交通安全課
昭和51年度 機械統計年報	"	消費者行政事業実績	消費生活課
昭和51年度 建材統計年報	"	消費者行政の概要	"
昭和52年版 労働白書	労働省	保健婦活動状況	医務課
昭和51年版 建設統計要覧	建設省	県における救急医療の概要	"
昭和52年版 建設白書	"	全国中小企業診断研究会	経営指導課
昭和52年版 国土統計要覧	国土庁	昭和52年 茨城県工場適地図	商工企画課
昭和52年版 国土利用白書	"	新しい農業者の育成	教育普及課
昭和52年版 防災白書	"	農業改良普及事業の概要と実績	"
昭和52年版 地価公示	建設省	農林水産試験研究の主要成果	"
昭和51年版 環境統計要覧	環境庁	農業機械導入利用診断の概要	"
昭和52年版 環境白書	"	健康な土づくり推進事業実績書	"
昭和50年 医師・歯科医師・薬剤師調書	厚生省	統計資料からみた茨城農業の位置	"
昭和52年度 国と地方の文教予算	文部省	健康な土づくりの歩み	"
霞ヶ浦	茨大霞ヶ浦研究会	県における水稻受委託の実態	"
昭和50年度 貨物地域流動調査	運輸省	県における花卉栽培の概要	"
昭和50年度 旅客地域流動調査	"	昭和51年度 果樹試験の概要	"
昭和51年版 都市交通年報	運輸経済研究センター	200カイリ問題と茨城の水産業	農政企画課
		農業改良資金貸付一覧表	農業経済課

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
農地調整年報	農地管理課	昭和50年度 人口移動実態調査結果	千葉県統計課
土木概要	監理課	昭和51年 果樹基本統計調査統計報告	埼玉県統計課
茨城教育便覧	教育庁総務課	昭和52年 大型小売店統計調査結果報告	神奈川県統計調査課
研究と実践のあしあと	教育庁社会教育課	昭和51年度 工業生産統計調査結果	〃
高校生の船資料	〃	昭和50年度 長野県の県民所得	長野県統計課
県内市町村関係		昭和52年 県勢ダイジェスト	山梨県統計課
昭和51年版 統計かつた	勝田市役所	昭和52年 果樹基本統計調査結果	〃
昭和52年版 結城の統計	結城市役所	昭和50年 静岡県県の県民所得	静岡県統計課
岩間町第2次総合計画	岩間町役場	昭和50年度 愛知県民所得	愛知県統計課
昭和52年版 統計表	大子町役場	昭和52年 県民所得	和歌山県統計課
大子町史研究・5号	〃	昭和52年 大阪府の人口動向分析	大阪府統計課
都道府県関係		昭和52年 大阪府累年統計書	〃
昭和51年版 福島県の人口	福島県統計調査課	昭和50年 岡山県統計年報	岡山県統計課
昭和52年 県民所得統計	〃	昭和52年 県民所得推計報告書	島根県統計課
第91回 福島県統計年鑑	〃	昭和52年 香川県統計年鑑	香川県統計調査課
昭和52年度 学校基本調査報告書	栃木県統計課	昭和52年 愛媛県民所得統計	愛媛県統計調査課
		昭和50年度 県民所得推計報告	熊本県統計調査課
		昭和51年 果樹基本統計調査	鹿児島県統計課



昭和53年版 茨城県民手帳 申込受付中

価 格 220円

申 込 締 切 残部がなくなり次第

申 込 先 市役所・町村役場の統計係または茨城県統計協会
 〒310 水戸市三の丸1-5-38
 茨城県企画部統計課内
 TEL. 0292-21-5505

掲 載 の 内 容 ◇統計からみた茨城の姿◇各月の行事予定表◇茨城県の歴史◇県庁の機構図◇県内選出の衆・参両院の議員、県議会議員の住所、電話番号◇県庁や県庁の出先機関、主な官公庁の所在地、電話の一覧◇市町村別の役

場の所在地、電話番号、面積、人口、有権者数、農業、工業、商業の統計資料◇茨城県民の歌(楽譜付)◇県内の郵便番号、郵便料金、印紙税法、度量衡換算法◇共済組合の宿泊施設、近県の国民宿舎◇茨城県の観光

発送に要する送料は、実費御負担願います。ただし30冊以上申込まれた場合には、当方で負担致します。売り切れる場合もあります。お早目にお申込み下さい。